

「普通学級就学希望を拒むな！」

国連 2022 年総括所見（勧告）実現を求める院内集会

日時 2025 年 2 月 21 日（金）午後 1 時から

場所 参議院議員会館

開催決定！

国連勧告実現を求める皆さん！

私たちは標記の院内集会を開催します。ここに開催の予告をし、皆さんの集会開催への賛同及び参加、協力をお願いします。

私たちは、1981 年結成以来、障害児を普通学級から排除する分離教育制度の差別に抗って、普通学級への就学をすすめ、共に学び育つ教育を求めて来ました。

世界では、2006 年に国連でインクルーシブ教育が規定されている障害者権利条約が採択されました。日本でも障害者基本法改正、学校教育法施行令改正、差別解消法制定などの施策がありました。しかし、旧来の分離教育が温存され、2014 年に条約は批准されたにもかかわらず、インクルーシブ教育は進められず、さらに分離体制が強化されています。全国連にも会員からそれを訴える多くの声が寄せられています。

そういう状況に対して、国連障害者権利委員会の 2022 年の日本審査の総括所見（勧告）では、日本は分離教育をやめるように求められ、国家的な制度改革を迫られました。現在の分離教育の制度では、普通学級への就学は拒まれることが多く、勧告では就学拒否の禁止の制度を求めています。

本来的には国家計画として法制度の見直しが進められていくべきです。インクルーシブな社会を作っていくことは地球的な課題であり、子どもたちの教育をそこにつなげていくことは急務です。しかしながら、日本政府は今のところそれを進めようとはしていません。少しずつでもインクルーシブ教育に向かっていくためには、普通学級就学の希望が拒まれることなく実現し、必要な合理的配慮を行う体制がとれるようにしていくことが第一歩です。共に学び育つインクルーシブ教育を進め、総括所見を実現させていくべきです。その実現に向けて、政治の協力を求め、院内集会を開催し訴えたいのです。勧告実現のために皆さんと力を合わせて頑張りたいと思い、このような集会を開催します。団体、あるいは個人としての賛同、参加、そしてご協力をお願いします。賛同していただける方は、右下の QR コードから、またはメール、FAX、電話で以下のことをご連絡ください。

①賛同する ②名前 ③住所、メール、電話等連絡先 ④ご意見

連絡先 メール info.zenkokuren@gmail.com

TEL 03-5313-7832

FAX 03-5313-8052

障害児を普通学校へ・全国連絡会 代表 長谷川律子

